

研究課題名	肝臓病における炎症・線維化・発癌に関与する遺伝子の探索
研究の意義・目的	胆管を含む慢性肝疾患による病気の程度や進行する早さ、さらに癌になりにくいかどうかという事が、生まれながらの体質と関係するのかを明らかにするため多くの遺伝子についてその働きを調べます。将来的には肝疾患の予後を推測するためにその遺伝子を調べることでその患者さんに正確な病状を説明し、さらに適切な治療を提案できるようにすることが目的です。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～2030年3月末まで
研究協力をお願いしたい方(対象者)	肝臓病のため大阪公立大学医学部附属病院へ通院あるいは入院された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療とは別に20mlの採血を提供いただきます。 治療として手術や検査のため肝生検をされた方には、診療上必要としなくなった肝臓サンプルを一部提供いただきます。 診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させていただきます。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、検査データ、CT画像、治療内容、予後】
試料・情報の他機関への提供	解析には次の研究機関と共同で実施します。 国立国際医療研究センター、熊本大学
この研究を行っている共同研究機関	この研究は下記の共同研究機関と共に行います。 国立国際医療研究センター 溝上雅史、徳永勝士 熊本大学 田中靖人
試料・情報を管理する責任者	多施設共同研究の場合 代表研究機関 大阪公立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学 研究代表者 小塚 立蔵
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪公立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学 (担当者氏名) 小塚 立蔵 電話番号：(06) 6645-3905 メールアドレス：gr-med-shoukaki-lbp@omu.ac.jp